

自己の成り立ちについて 臨床哲学的視点から

内海健

司会 | 原和之

2011年 10月3日 [月] 18:00-20:30

東京大学駒場キャンパス 101号館 2階研修室

使用言語：日本語 | 入場無料 | 事前登録不要

講演者プロフィール

東京芸術大学保健管理センター准教授。日本精神病理・精神療学会、日本病跡学会理事。

著書に『うつ病新時代——双極性Ⅱ型障害という病』（勉誠出版、2006）、『うつ病の心理——失われた悲しみの場に』（誠信書房、2008）、『パンセ・スキゾフレニック』（弘文堂、2008）など多数。

主催

東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)

The University of Tokyo Center for Philosophy <http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

University
of Tokyo
Center
for
Philosophy

William Blake
I suppose it to be a Vision
Indeed I remember a
conversation with Mr. Blake
about it
Frederick Tatham